

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 腎移植における潜在的拒絶反応に対する治療効果の検討』

【研究の背景および目的】

腎移植において拒絶反応治療は移植腎機能の予後を改善することが知られています。しかしながら、症状に出ない組織上の拒絶反応への治療が、移植腎機能予後を改善するかは明かではありません。

そこで、東邦大学医療センター大森病院腎センターでは、組織のみの拒絶反応への治療が移植腎の予後を改善するかを明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、組織のみの拒絶反応に対する治療の有効性の評価につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2006年～2017年までに東邦大学医療センター大森病院腎センターにおいて、腎移植術を受けた症例で、術前に「病理診断のための組織の教育・研究目的に使用することに関する同意書」にサインを頂いた症例(約270例)を対象とします。

病理検査後の試料をそのまま用いて移植腎の組織評価を行い、診療録(カルテ)から抽出した診療情報と共に解析して、拒絶反応に対する治療効果を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。企業との利益相反状態にある共同研究者がおりますが、直接病理データ解析には関与せず、また複数の共同研究者間で監視しあう体制をつくり、客観性が保たれるようにいたします。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 腎センター
職位・氏名 助教 水谷 年秀
電話 03-3762-4151 内線 6757